

26年度

# 震災支援トピックスー11

NO11-1

## 定期お出かけコース B 8月23, 24日 キャンプと花火



被災者支援の大曲の花火とキャンプ&カヌーでしたが、20日からの大雨で予定していたキャンプ地も泥だらけで車が入れなく閉鎖になり、花火大会も中止になるのか判断が難しい中、大仙市役所からもしよかったら代替え地として、花火会場から10kmほど離れた神宮寺の笹倉公園を紹介してもらい、ここに決めて22日の前日から準備に入りました。22日の夜も大雨で危ぶまれましたが、結局お天気も回復し花火も開催することになりました。



ただ、大雨で泥濘を歩いて会場まで行ったとしても、また雨の予報もあって被災地からの方々から急遽不参加との連絡が入りました。残念でしたが次回に期待したいということで会員で残念会を行いました。滝のような大雨に見舞われ「もっとフレフレ雨さんよ」、「雷さんももっともっと光れ」と空に声をかけて盛り上がりました。

### 8月23日 当日は朝から雨も上がり花火日和かな



雨よフレフレが効いたのか笹倉公園の夜明けの風景です。午前10時過ぎから多くの方々が続々と集まってきました。招待客も気仙沼の方々をのぞいても33名にもなり、親子連れも多く大曲の花火を是非1回は見てみたいと思っていて、ようやく実現し本当にうれしいと、この日の為に準備をして来たそうです。雨で本当に心配して中止になったらと寝られなかったそうです。皆さんの気持ちが通じたのか晴天になりあの雨と雷はどこへ行ったかと思えるほど花火日和となりました。



笹倉公園内には牛、馬の放牧場もあり、また子供たちが喜ぶ施設が整備されていて、河川敷のキャンプ場よりはトイレや水道なども完備してあってとても喜ばれました。

避難者同士バーベキューにビールで語り合い、花火の時間までに大いに楽しんでもらいました。



午後5時にバスで会場近くまで行って、柵席まで民族大道の様子です。人人人、78万人です。迷子にならないようにのぼりを立てて誘導しました。



所定の桝席に開始30分前には到着しました。ここも人人人でしたが気仙沼からの方々のキャンセル分があったために十分余裕の観覧席でした。



これが大曲の花火と言わんばかりの大会提供花火が16分間打ち上げばなしには初めて見た福島から参加した鈴木さん親子は興奮気味にすごい、すごい連発でした。

## 待望のカヌーができた



翌日の23日はお天気も良く、時間の制約もなかったので、カヌーをすることになりました。玉川橋の下から雄物川に合流して、北檜岡までの5kmのカヌーイングを行いました。参加者もカヌーをしなければ「気の抜けたビールよね。」と話していました。予定では大仙市長との約束の花火会場の土手のクリーンアップをすることになっていましたが、キャンプ地が変更になったので出来ませんでした。カヌーの約束を果たせてよかったです。

最後に来年の約束をして散会をしました。皆様ご苦労様でした。